

1979年5月15日

福竜丸だより（第14号）

(4)

東京には空がない
と言ったのは高村智恵子
ここだけには空がある
と言ったのは夢の島の住人
大東京の巨大な汚物が海に
せり出してできた埋立地
夢の島に若木が植えられ
公共施設が少しあるだけ
三百六十度に空がある
四方八方

空
高崎謹平



新理事に本多喜美先生就任

去る五月七日開かれた、平和協会第三三回理事会（内容は三面参照）により、故神崎清理事の後任として、永年福竜丸保存運動に貢献されて来られた本多喜美評議員が、満場一致で選出されました。

同氏は、一九一二年六月一日生。本多診療所々長。医学博士。

整備された展示館

親しまれる環境づくり

都による展示館出入口の美化工事に伴い、平和協会では“植木を愛しましよう”という立札を建て、また立入が危険と考えられる箇所には“危険・立入禁止”的立札を建てました。

それとともに、館内の整備に着手し、一般来観者のための休憩所の新設とともに従業員の詰所を設け、新たに物置をおき、

ともに、アンケート・感想録の受付も行うこととしました。

これらはすべて親しまれる展示館の環境作りとして行われて

います。

(H)

(1) 1979年5月15日

福竜丸だより（第14号）

ゴールデン・ウィーク

7日間で

来観者4,300名越える

5月5,6両日

2日連続で来館者1,000名上回る

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

（財）第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話（521）8494

多彩な記念行事で 心からお祝いしましょう！

来る六月一〇日で、江東区夢の島にある都立・第五福竜丸展示館は、満三年の誕生日を迎えことになりました。

その創設に協力し、開館以来東京都からその運営・管理業務を委託されてきました平和協会は、それこそ“這えば立て、立てば歩めの親ごころ”で、力をつくしてその任に当って参りました。それだけに、展示館が恙がなく三周年を迎えたことに心からの喜びを禁じ得ません。

顧みますと、その開館の当時は、都バスも通っておらず、周囲は草ぼうぼうの野原で、これで一体、どれだけの利用者があらうか、と危ぶむ声もきれ、平和協会でも内心、大へん不安な向きもあったのですが、幸に予想外に多くの都民のかたがたのご来館があり、その数は年を追ってふえ、最近は通算総

数十一万四千名、月平均三千二百五十名、一日平均一二八名どなっています。

このことは、都バスの開通とが、夢の島公園の建設が進んで楽しい都民の憩の場所となつたこととか、東京都の努力に負う

ことも多大ですが、何と言つても一般都民の関心が大きく、その支持が予想外に強かつたこと

にあつたと思います。

私どもとしては、この展示館

第五福竜丸展示館創立三周年記念集会

とき

六月十二日（火）午後六時

ところ

神田・労音会館（国電水道橋駅下車）

内容

都知事並びに各界代表祝辞

記念発言

国際児童年と第五福竜丸児童文学者 山口勇子氏

記念合唱

国鉄東京合唱団

整理費

300円

の三周年を心から祝い、併せて一般市民にもっとよく展示館の存在を知つて頂くために次のよくなな行事を考えています。

①六月十一日（月）午後一時半から日比谷・松本楼において記念祝賀会を開催します。これは協会役員を中心いて、内輪の祝賀の目的で開かれます。

②六月十二日（火）午後六時から神田・労音会館で、大衆的な記念集会が開かれます。

なお、これらの行事とともに左の事業を行います。

①管理レポート特集版発行
②福竜丸だより記念号発行
③スライド作成

され、次の諸点について意見が出され、可決されました。

①財政の正常化に伴い、借入金は速やかに返済、その利子もアップさせること。（従来は年三分で余りに安すぎること）

②給与についても、年二回のボーナスは出す方がよい。（従来は支給されたことがない）

③知る集いはできれば継続しついで、神崎清理事の逝去に

2. 6月12日午後六時から神田の労音会館で記念集会をひらく。国際児童年の関係で山口勇士先生のお話と合唱団のコラスをきく企画を立てること。

3. 展示館管理レポート第三号を出し、福竜丸だより第15号を記念号とし、名刺広告をとる。

そのほか、五月十九日の平和行進の夢の島出発など他団体の行動には協力すること。

もたちに。山形より 角川洋一
人は頭が良くなると、おそろ
しいことまで考え出す。
無記名

「」の話をきいていると、お
そろしくて、いつ戦争がおこる
かわかりません。
だから二度と戦争のおこらな
いようにしてほしいと思います。

こんな有意義な施設をもちながら我々は、原水爆の存在を遠いものと思いがちになる。再び強く平和と人類の安全な生存の為に、強く闘わねばならないことを思い知らされた気がする。

江東区住民 S・K

くわしく話してもらいました。大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

小田急バス一同

来館者の 声から

でないと、いつも心配でねむれなくなるかもしません。

小学五年生 賀川優香

今日、恋人のヒトミちゃんといっしょに船を見に来た。とてもよい思い出ができた。　響

古くなつた船を見て、船員たちが苦労したんだということをしみじみ感じとつた。

たくさん　区内の住民ながら仲々訪れる

無記名　無記名

爆する事
れる事の
語り伝え
館である。

ればいけ
いづる事

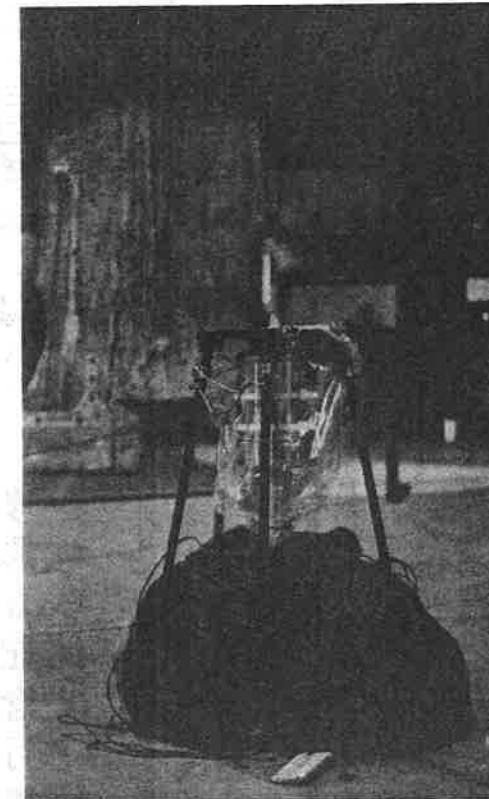
新しい躍進をめざす 第33回理事会ひらかれる

福岡理事の御仕は本多喜美女史

5月7

(2)

右一測定車



左一 檢出器



金沢大学理学部

調査団が来館

福龍丸の残存放射能を測定

去る四月二〇日から二一日にかけて、石川県の金沢大学理学部の調査団が、展示館で放射能測定を行いました。

測定にはかえって好都合で福
竜丸の甲板、ボンデン竹のシニ
ロのサンブル、はえなわなどの
放射能を午後七時すぎまで測定
しました。

射能実験施設があり、可搬型G

翌二日は、うつて変った好

e (L.i) 検出器を所有しています。これは現在、日本に四台しかない最新鋭の測定器で、これまでに広島、長崎を始め測定車につみこんで各地を廻り、放射能測定を行なった実績をもつています。

展示館へは、阪上正信施設長 小村和久助教授を始め、五名が測定車に同行、また、上京されていた滝沢行雄秋田大学教授も立ち寄られました。

初日の二〇日は、終日小雨の降るあいにくの天氣でしたが、来館者が少なかつた事もあり、

天に恵まれ、前田に引き続く測定を午前中行ないました。

今回の測定について阪上教授は、「こんどの測定は、決して残存放射能が危険かどうかの調査ではなく、放射能がどう変化しているかを調べたので、有益な研究が期待できます。その結果は何れ公表されますが、ともあれ第五福竜丸やその附属品は学術研究の上からも貴重な資料であり、今後ともに大切に保存されることが望ましいと思います」と語り、次の測定地である静岡大学へと向われました。